

◎ 1・2級土木施工管理技士DVD通信講座

1：通信指導課題（全28回）

VOL	科目	内容
1	法規Ⅰ	・労基法、労安法
2	法規Ⅱ	・建業法、道路、直交法
3	法規Ⅲ	・河川法、建基法
4	法規Ⅳ	・火薬取締、騒音規制法
5	法規Ⅴ	・再生資源、港則法
6	一般土木Ⅰ	・土工、土質①
7	一般土木Ⅱ	・土工、土質②
8	一般土木Ⅲ	・コンクリート工①
9	一般土木Ⅳ	・コンクリート工②、③
10	一般土木Ⅴ	・基礎工①
11	一般土木Ⅵ	・基礎工②、③
12	一般土木Ⅶ	・建設機械
13	専門土木Ⅰ	・鋼構造物
14	専門土木Ⅱ	・河川
15	専門土木Ⅲ	・砂紡、ダム
16	専門土木Ⅳ	・道路
17	専門土木Ⅴ	・トンネル工事
18	専門土木Ⅵ	・港湾・浚渫工事

VOL	科目	内容
19	専門土木Ⅶ	・海岸
20	専門土木Ⅷ	・鉄道
21	専門土木Ⅸ	・下水道工事
22	専門土木Ⅹ	・地下構造物、土留め工
23	施工管理Ⅰ	・測量、約款、施工計画
24	施工管理Ⅱ	・原価管理、運搬計画
25	施工管理Ⅲ	・工程管理
26	施工管理Ⅳ	・品質管理
27	施工管理Ⅴ	・安全管理①
28	施工管理Ⅵ	・安全管理②

2：模擬問題（全3回）…通信指導課題修了後実施。

3：スクーリング…直前講座において実施。

明示事項

施設の名称	(株)東北技術検定研修協会	指定講座番号 <small>[再指定・変更希望講座のみ]</small>	040161320012
講座の名称	1・2級土木施工管理技士DVD通信講座	一般様式第1号の仮番号	

1. 教育訓練の目標

(1)取得目標とする資格の名称、レベル	土木施工管理技士1級・2級資格取得のための教育
(2)当該資格・試験の実施機関名称	国土交通省
(3)資格取得のための要件又は受験資格	建設業法に定める学歴に対応した必要経験年数
(4)当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	建設業法に定める主任技術者、監理技術者の要件となっており、建設業界において、工事受注条件、施工管理能力の主要な条件に、資格者の養成が推進されている。

2. 受講者の要件等

(1)受講にあたって必要な実務経験	受講にあたっては原則として、検定試験に受験資格を有する者を対象とするが、特に受講生の要望がある場合は、次年度以降の受験を目指す者も受講を認める。
(2)受講に最低限有しておくべき技能・知識の内容及び水準	受験科目に対する経験を有する者

明示事項

施設の名称	(株)東北技術検定研修協会	指定講座番号 <small>[再指定・変更希望講座のみ]</small>	040161320012
講座の名称	1・2級土木施工管理技士DVD通信講座	一般様式第1号の仮番号	

3. 教育訓練の内容(カリキュラム)

教 科	時 間
法規	3.6 時間
一般土木	6.1 時間
専門土木	6.1 時間
施工管理法	12.2 時間
	時間
	時間
	時間
	時間
	時間
	時間
	時間
合 計	28 時間

4. 受講効果の把握方法

(1)修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	全添削課題のうち70%以上の提出率があり、かつ修了試験において70%以上の得点を得ること。
(2)教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	添削問題及び受講生との連絡通信より

5. 教育訓練目標達成に向けた支援等のための具体的な措置等

(1)受講者に対する習得度・理解度についての具体的な助言・指導方法	添削課題の解説及び通信又受講生からの随時の質問による	
(2)受講中・修了時における資格取得・就職へのバックアップ体制	当社教室の掲示などにより必要な情報を知ることができる。又、受講生からの質問及び情報の提供の要請に応じる体制をとっている。	
(3)スクーリングの実施状況 <small>[通信制のみ]</small>	実施の有無	■有 (□必須 / ■任意) / □無
	スクーリング実施場所・時期・期間・回数、実施条件等	仙台市、7月上旬、2日
(4)受講者の本人確認方法	受講申込み時	本人に生年月日、現住所、本籍地、身分証明証の確認
	受講日(通信の場合は受講期間中)	写真、住民票、雇用保険証の写しの確認